

秋晴れの暖かい勤労感謝の日の楽しい句会になりました。出席者十四名、投句のみの方六名。洋子さんからは、皆さんにおはぎの振舞い迄まで戴き有難うございました。題は「買う」でしたが、愉快な句がでそろいました。師走の句会は、

十二月の句会… 十二月二十四日(日) 午前十時～十一時四十五分

集会所

題… 「いきいき」

十一月の句会から 題「買う」

* ハロウィン いしようをかって かそうする 月出小5-1 つる川 まお

(外国から入ってきた、もともと悪魔よけのお祭りのようですが、なぜこのように若い人たちに受けるのか分かりません。私にとっては狂気の沙汰。)

* あの笑顔買えないけれど作ろうよ 雅子

(百万ドルの笑顔などと値を付けた文句もありますが、笑顔はそんな安っぽいものではありません。笑顔を互いに作る心がけを説かれる作者の意図に最多の共感あり。叶えたい笑顔笑顔の人类社会。軽やかに奥深い句を戴きました。)

* メモをして買い物しても忘れます 英代

(出席された皆さんが同じ経験をされているのでしょう。右の句に並んで最多共感句。折角書いたメモを忘れたとか、自分の字が読めないなどの経験談が披露されましたが、歳には勝てません。しかし買い物は元気の素です。)

* しあわせは買えないんだよ心がけ 洋子

(幸せ感こそ心の持ち方ですものね。きっと幸せいっぱいの日々を送られているのでしょう。洋子さんはこの会発足当時から投句頂いているのですが、出席は初めてだったそうです。会場に花を添えていただきました。)

* 低価格しめたと思う落とし穴 和博

(値段は嘘つかぬと言いますが、時には落とし買もあります。売れ残りに高い値札を付けたらすぐ売れななどの話を聞いたことあり。商売人と言えば良いイメージだけではありませんものね。)

* すきなもの冥途の土産買って行け

公男

(愉快な句を戴きました。地獄の沙汰も金次第と言いますが、公男さんならさしずめ銘酒に鯛の活き造り。)

* 鶴屋行き娘が嬉々として来る

せいこ

(親の財布とお買い物とは幸せな娘さんです。いくつになっても娘は娘、親の子煩悩は尽きません。鶴屋では母と娘の連れはよく見かけます。陸ましい光景です。)

* 買いだめて子らに叱られ処分され

まゆみ

(歳を取ると先に買っていることを忘れて、ついつい買いだめになりがちです。一方若い世代は賞味期限内に忠実で、躊躇なく廃棄します。又買っていると子によく叱られると他からも声が上がりました。我が家は私の舌が賞味期限の決め手です。)

* デパートに贅沢気分買いに行く

六郎

(買い物をする訳ではありません。特に婦人服のコーナーを眺めるだけで華やかな贅沢気分になります。無銭飲食のようなものです。)

* まだかなあシール張り替え午後の四時

たか子

(午後の四時は千葉の商習慣だそうです。熊本は六時ごろか。何処も同じ日々の夕暮れ。)

* 人の世は金で買えない事多く

まさひろ

(人間の真心にあるものは決して金では買えません。金色夜叉のお宮さんも、やがて寛一さんへの思慕をとりもどしました。そうは言っても金が物言う人社会です。)

* 年金日今年こそはと夢を買う

早苗

(毎年宝くじを買って夢を追っていると付記あり。年末ジャンボは今や師走の風物詩になりました。夢を見るのもタダじゃない。金がかかっていますから、きつと豪勢な夢でしょう。)

* 買う買うと念仏となえ買った家

桐子

(これこそ念願の家です。私たちが生きてきた時代は、まだ家族制度の意識が色濃く残る世代でしたので自分の城を持つことが人生の最大の夢でした。今は核家族となって、育った家も一過性の宿になつてしまい、淋しいけど仕方なし。)

* 宝くじ当たるつもりの夢を見る

てるみ

(つもりの夢が正直でいいですね。人間の目出度い性が句になりました。此れがあるから人間であることに飽きがない。社会奉仕の作者なので、どんな夢を紡いでおられるのかなあ。)

* 靴紐をしめて買い物近く日まで

伸子

(立派な覚悟、私も做りたい。食えることが生きることですので、自分自身の手足で叶えられることは大変幸せなことだと思います。)

* 通販で即買いするも箱の中

遊位子

(テレビはCM満載。30分以内にお買い求めの方には云々と、買い気を煽ります。例えば菓を塗って黒々とした髪の毛が生えてくるはずがない。うっかり買うと結局ゴミ箱入りです。)

* 大バーゲンチャンス爆買い大赤字

貴美子

(こりゃ大変。張り切り過ぎですよ。言葉の盛りすぎですので、「バーゲンにつられ財布が悲鳴上げ」くらいにしたらどうでしょう。)

* 今日もまた誘惑にまけ甘味買う

千恵

(作者の話から優渥を誘惑と解釈しました。ご婦人が気に掛かるのは肥満対策でしょうが、私の場合血糖値が問題で菓を服用させられています。甘い物食えない人生なんて言いたいです。)

* 宝くじ一億家買い夢が覚め

展行

(豪勢な夢でした。夢は夢明日のパンを買いにゆく と言う句もあります。)

* さあ買った買った門司港の叩き売り

蓼

(懐かしいバナナの叩き売りの句を戴きました。熊本でもスーパーやコンビニでやると人を集めて景気づけになると思いますが。あの独特の名調子を聞きたいものです。)

* 高い物見分ける力必要だ

郁代

(なかなか売れない物に高い値を付けたらすぐ売れた等の話もあります。人の目もいい加減。)

* 買い物で金がないのに見栄を張る(誰に見しよとて紅花つけて の恰好付け。)

まゆみ

* あと僅かスマホ慌ててたぐり寄せ(CMテレビに煽られて。)

たか子

* 出かけずに手元に届く世の中に(老人には便利だけど運動不足へ諸刃の剣)

蓼

* これが最後と黒い靴買う喪服用(葬儀も家族葬へと簡素化。喪服も無くなるかも)

桐子

* 知らぬまに鎮座している鍋道具(無言の催促。鍋料理の季節になりました。)

遊位子

* 旅先でお土産を買う至福時(道理で集合時間に遅れるのは、いつもご婦人)

英代

* あれこれと孫のお供で大散財(痛し痒しと言うところか。)

展行

* 買いすぎて道産子市ですっからかん(楽しみの道産子市で売り子の勧めに負けて)

千恵

* ただ旅行つい買わされて後悔す(タダが財布を開かせる罠でした)

洋子

* 阿修羅かと思まごうそこはバーゲンセール(ご婦人方の勢いのすごいことと付記) 和博

* 飼い犬に孫の名を付けいつも呼ぶ(返事はワン。面白いお爺ちゃん。) まさひろ

* あれほしい主人にナイショでへそくりで(主婦の密かな楽しみ) 貴美子

* 店入り^{はいり}忘れてしまった買うものを(物忘れ元気な証拠気にしない気にしない) 早苗

* 世話役を良かれとしたが恨み買い(出しゃばりと誤解されかねませんが誤解は解ける)せいこ

* 買えるなら買ってやりたい優しさを(周りで作ってあげましょう。) 雅子

* 地産地消につながる品に手を伸ばす(地域活性化の第一歩。心がけています。) てるみ

* 宝くじ買って八十路の夢を追う 伸子

(宝くじを老境の活性化に利用するという前向きの素晴らしい句。五七五の造りもきれいで締め句に
いただきます。)

ご参考までに(川柳きやりから無断借用) 題「いきいき」

元句 * 前向きな心へ運がついて来る

(一般論に終わって、物足りません。もう一步踏み込んでよみましょう。)

添削句 @ 前向きに生きて女神に愛される

元句 * 健康は整形よりも美を作り

(上五を「〇〇は」とすると、説明になり易いので気を付けましょう。)

添削句 @ 整形をするより光る健康美

元句 * 甲子園熱気あふれる球児たち

(その通りですが、うたい文句を並べた印象です。もっと作者自身の視点を探しましょう。
例えば平凡ですが)

添削句 @ 甲子園白球追って泥まみれ

以上